

平成 25 年度 第 1 回 松阪市環境審議会 議事録

日 時 : 平成 25 年 5 月 20 日 (月) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 10 分

場 所 : 松阪市産業振興センター 2 階人材育成講座室

出席者 : 17 名

審議会委員 13 名

富田靖男 (会長)、門暉代司 (副会長)、大橋純郎、小林典子、
鈴木宏武、須藤 弘、田畑繁行、中村陽子、野田幸治、
前田多香子、牧戸継右、山上和美、山本清巳

事務局 4 名

磯田環境部長、武田環境課長、
山口環境推進担当主幹兼環境推進係長、環境推進係 (垣本)

傍聴者 : なし

〈議 事〉

1. 平成 25 年度における松阪市環境基本計画重点事業について

- ・事務局より、上記について説明。

会長 : 事務局の説明に対して、ご意見や質問等をお願いします。

委員 : 重点事業 (2) のネコギギ観察会はいつ行うのか？

事務局 : 7 月に豊地小で、8 月 11 日に一般向けとして、計 2 回行う。

委員 : 重点事業 (3) の目標利用者数が昨年と同じだが、24 年度で達成しているならば、
目標は上げるべきである。

事務局 : 24 年度は未達成 (現在集計中) であるため、今年度も同じ数値としている。

委員 : 重点事業 (12) の補助金交付団体数は数値化したほうがいい。

事務局 : 団体は年度中の合体、分離があるため、数値化することが難しい。

委員 : 数値化することで明確にするべきである。

事務局 : 検討する。

委員：重点事業（3）のバスルートに、市民から意見や要望はないのか？もしあるのなら、それは検討するべきである。

事務局：現時点では、要望等があるかどうか把握していない。嬉野の「おおきんバス」は住民からの要望で立ちあげた。

委員：コミュニティバスとは別物であるのか？

事務局：別である。

委員：重点事業（15）の人員増加のためのツールは何か？

事務局：25年度に「啓発プロジェクト」を立ち上げ、広報活動等を検討中である。

委員：重点事業（1）は林業基盤が全面に出ており、森林保全という観点が描かれていない。実施内容に、環境問題として「広葉樹の植林」等が必要。川と海の環境改善のためにも、この方が重要だと思う。

委員：森林開発には助成金があるのに対し、広葉樹の植林には無い。水環境には広葉樹の植林が切実問題。間伐よりも目を向けてほしい。

委員：山の管理には経費がかかること、市場価格の低下などが、山が荒廃していく原因。この荒廃した山に手を入れる事業が必要である。個人管理すべきという意見もあるが、森林整備に目を向けてほしい。

会長：「森林」と「環境」が連携、一体化した施策が重要になってくる。

委員：ボランティアなどが山に樹木を植えても、その後は何もしない。その後も十分考える必要がある。全てを考えた行政施策が必要。

委員：建築物も欧米化し、国産が減少している。行政自ら地産地消を行なってほしい。

委員：実施内容の具体的表現として、山や場所などの特定はできないのか？

事務局：それは事務局ではわからない。

委員：結果は環境課で把握するべきである。重点事業（3）も、最近は乗車人数が減少しているのでは？人数推移は把握しているのか？

事務局： 利用者数は、横ばい傾向である。

委員： 目標として掲げるのであれば、増加数をきちんと把握して、環境課が進捗状況をみていく必要がある。そのためにも実施内容を数値化するべきである。

委員： それは環境課ではなく、各部署が検討することである。実際施策を行うのは各担当部署であり、環境課が実施するわけではない。

委員： 実績数は把握しておく必要がある。市長の新しい議案はあるのか？

事務局： 現在、検討中と思われる。

会長： それにより、この重点事業も増える可能性があるのか？

事務局： 可能性はある。

2. 平成 25 年度における松阪市環境パートナーシップ会議の活動について

・事務局より説明

委員： 緑のカーテンコンテスト会場はどこか？

事務局： 検討中。昨年度は本庁以外に各地域振興局等で開催した。

委員： 増員対象は？

事務局： 市民と市民団体を増やす方向で考えている。

委員： 各地域のまちづくり協議会にも働きかけてはどうか。

委員： 緑のカーテンの種類を広げてほしい。

3. その他

会長： 特に無いようなので、今日はこれで終わります。